

社会調査に役立つ統計分析：SPSSワークショップ

2018年3月1日（木）、2日（金）、5日（月）、6日（火） 講師：金明中先生（ニッセイ基礎研究所）



現代女性キャリア研究所では、2012年から毎年学内の学生・教職員を対象として、「社会調査に役立つ統計分析：SPSSワークショップ」を開催しています。2015年度からはメディアセンターの協力により、コンピューター演習室の利用が可能となり、充実した環境でたくさんの方に知識を提供することができるようになりました。

講師を務めて頂いているニッセイ基礎研究所の金明中先生には、SPSSの基本操作からデータの加工などの基礎知識と、統計分析の理解からクロス集計、統計分析（回帰分析など）、SPSSの応用を4回にわたってご講義いただきました。3月1日(木)、2日(金)の入門編と5日(月)、6日(火)の応用編に分け、実践的学習の一層の充実をはかりました。

アンケート結果からは、「テキストも分かりやすく、授業も面白く、楽しく理解できました」「研究に使えるので勉強になりました」との声が聞かれ大変好評でした。

家族・家計経済研究センター

(Center for Research on Family and Household Economics: CROFH) 創設

家族・家計経済研究センターは、現代社会においてますます重要になってきた家族・家計、関係する政策等について研究するため、2017年、日本女子大学現代女性キャリア研究所（RIWAC）内に創設されたセンターです。

家族・家計経済研究センターでは、公益財団法人家計経済研究所（2017年12月解散）の研究成果のうち下記のデータを管理・公開いたします。

- (1) 機関誌『季刊 家計経済研究』
- (2) 研究報告書
- (3) 「在宅介護のお金と負担」

※パネル調査については慶應義塾大学経済研究所のパネル調査設計・解析センターに引き継がれます。（→<https://www.pdrc.keio.ac.jp/>）

家族・家計経済研究センター長 永井 暁子
(2017年4月～)



〒112-8681
東京都文京区目白台2-8-1
日本女子大学現代女性キャリア研究所内
家族・家計経済研究センター
TEL 03-5981-3380 FAX 03-5981-3381
<http://kakeiken.jp/index.html>

RIWAC-DA (リワック・データ・アーカイブ)

国際婦人年（1975年）以降に実施された、女性とキャリア（生き方）に関する社会調査を多数収集し、その詳細書誌データをデータベース化しネット上で公開しています。レポートや論文作成、ゼミ報告などに、多様な社会調査をぜひご利用ください。

<http://search.riwac.jp/>

所蔵件数 約1560件（2018年3月現在）



『現代女性とキャリア』発行

年に一回、『現代女性とキャリア』を発行しています。論文のほか主催した講演会やシンポジウムの記録、研究所の事業活動に関する報告を収録しています。また、投稿論文も受け付けております。詳細はHPをご参照ください。本書をご希望の方は、切手(1冊500円、2冊以上は要問合わせ)を貼った返信用封筒(B5サイズの入る大きさ)を当研究所へお送りください。



お願い

現代女性キャリア研究所では、女性とキャリアに関する社会調査のデータアーカイブ(<http://search.riwac.jp/>)を公開しています。女性とキャリアに関する社会調査資料をお持ちの方は、ご協力お願いいたします。

News Letter

Research Institute for Women and Careers

RIWAC
日本女子大学
現代女性キャリア研究所

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1
TEL 03-5981-3380 FAX 03-5981-3381
E-mail riwac@fc.jwu.ac.jp URL <http://riwac.jp/>

シンポジウム：なぜ女性は管理職になりたがらないのか



2017年12月16日(土)開催

人口減少社会のなかで、女性の労働参加は不可欠とされています。また、職場では人材不足によって女性に対する期待はますます大きくなっています。しかしながら、女性の管理職割合は依然として低く、女性は管理職になることに消極的であるといわれています。それはなぜなのか。

本シンポジウムでは、「なぜ女性は管理職になりたがらないのか」をテーマに、心理学や社会学の研究成果をもとにその原因について考えるとともに、性差を超えた新たなリーダーシップ像を展望しました。

<第1部> 基調講演

「性差を超えた新たなリーダーシップの構築を」と題して日本女子大学名誉教授の本間道子先生による基調講演をいただきました。

社会心理学の研究をもとに、女性とリーダーシップ役割の適合の問題や日常に潜む女性に対するアンコンシャス・バイアスによって、女性のキャリア形成の機会が阻害されることが示されました。さらに、新たな時代に求められるリーダーシップ像などについてご説明いただきました。



本間道子先生
(日本女子大学名誉教授)



大槻奈巳先生
(聖心女子大学)



坂田桐子先生
(広島大学大学院)



<第2部> パネルディスカッション

続いて、2人のパネリストより社会学視点、社会心理学視点からご報告いただきました。

第1報告「若年層男女の管理職志向」では、聖心女子大学の大槻奈巳先生から日本の企業的女性管理職が少ない理由をはじめ、就職超氷河期に就職した男女の管理職志向調査および新入社員の管理職志向(入社1年目と2年目)調査の結果が紹介されました。

第2報告「女性の昇進を阻む心理的・社会的要因」では、広島大学坂田桐子先生から女性の昇進意欲を阻害する要因と女性の昇進意欲を高めるために考える課題、有効なリーダーシップなどについて報告されました。

その後、講演者およびパネリスト、コーディネーター(当研究所所長大沢真知子)による全体討論が行われ、フロアも交えた活発な意見交換が行われました。

講演の詳細については、次号『現代女性とキャリア』第10号(2018年秋頃発行予定)に掲載されます。

研究会

Women's Entrepreneurship in Japan and China

講師: SONG Jing先生(香港中文大学)、
石黒久仁子先生(東京国際大学)



2017年6月30日(木)開催

SONG Jing先生(香港中文大学)より、日本と中国における女性起業家(各10名)を対象としたインタビュー調査結果をご紹介いただきました。現在調査半ばであり、また、日本と中国の社会経済状況の違いはあるものの、起業する女性たちには海外経験など環境による動機がみられることが報告されました。石黒先生ご自身の調査からのコメントもなされ、女性起業家に関する今後の調査の展開と新たな報告が待たれるところです。

著者に聞く：

『働き方の男女不平等—理論と実証分析—』

講師: 山口一男先生(シカゴ大学ライフ・ルイス記念特別社会学教授/経済産業研究所客員研究員)



2017年6月30日(木)開催

シカゴ大学ライフ・ルイス記念特別社会学教授/経済産業研究所客員研究員を勤められる山口一男先生に、2017年5月刊行の著書『働き方の男女不平等—理論と実証分析—』(日本経済新聞出版社)をもとにご報告いただきました。学歴の男女差が縮まり、企業が両立支援策を推進しても、なかなか効果が実感されない日本の現状について、働き方の男女不平等の背景要因や実証分析結果を詳しく解説していただきました。関心の高いテーマに、フロアからの質問も多くあり、理解をさらに深める機会となりました。

男女平等な職場づくり「姉妹」に学ぶこと—

講師: エミリー・ムラセ(サンフランシスコ市議会議員・サンフランシスコ女性地位局長)



2017年10月26日(木)開催

エミリー・ムラセさんをお招きして、講演会を行いました。当日はアメリカやサンフランシスコ市における男女共同参画の実態、具体的な政策に加え、個人レベル・管理職及び上司レベルでできることについて等をお話頂きました。当日は、西生田キャンパスとのテレビ中継もあり、活発なディスカッションが行われました。エミリーさんの講演の詳細については、次号の『現代女性とキャリア』(2018年秋頃発行予定)に収録する予定です。

Unpacking the Welfare State Paradox: Corporate Responses to Parental Leave Policies in Japan

講師: Dr. Eunmi Mun, Assistant Professor
(Department of Sociology and School of Labor and Employment Relations University of Illinois at Urbana-Champaigns)

2017年12月18日(月)開催

イリノイ大学のムン先生により、日本における1992年育児休業法及び2005年次世代育児支援対策推進法による女性雇用者への影響の分析などの研究が報告されました。多くの示唆を得ることが出来ました。

成果主義やWLBは男女間格差を縮小させるのか

講師: 児玉直美先生(一橋大学大学院)



2018年2月23日(金)開催

一橋大学大学院の児玉直美先生より、成果主義やWLB施策が男女間格差を縮小させるのかをご発表頂きました。量的データを用いた分析から、WLB施策、昇進、職務給と男女間格差の関係についてのご報告がなされ、参加者との活発なディスカッションが行われました。